



みらいを、掘り起こせ
奈義町

岡山県奈義町の取組み

合計特殊出生率
2.95達成！
(2019年7月1日現在)



2022.12.16

Chapter 01 / 奈義町の概要

P3~

沿 革

奈義町の文化と観光資源

奈義町の課題と対策

人口の推移

年齢3区分別人口の推移

総人口の推計

高い合計特殊出生率

Chapter 02 / 定住化に向けた住宅施策

P15~

分譲地の整備と状況

賃貸住宅の整備

若者向け賃貸住宅の建設

雇用促進住宅の取得

企業誘致

Chapter 03 / 子育て支援

P25~

奈義の子育て関係施設

奈義町の子育て支援施策の概要

地域ぐるみで子育て

Chapter 01

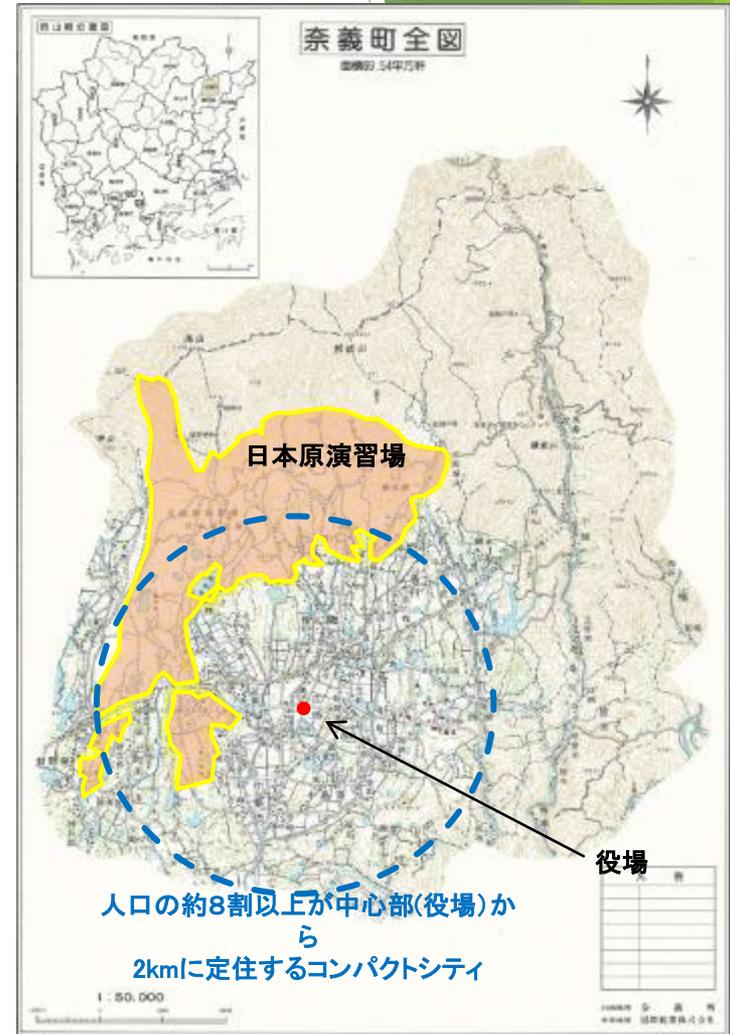
奈義町の概要



沿革

【奈義町の概要】

- 昭和30年 2月： 3村合併により「奈義町」が誕生
- 平成14年12月： 合併の是非を問う住民投票を行い「単独町制」を決定
- 平成24年 4月： 子育て応援宣言
- 面積： 69.52km²（東西約9km/南北10km）
- 人口： 5,759人（令和4年12月1日現在）
- 世帯数： 2,532世帯（令和4年12月1日現在）
- 特色： 自衛隊
 - ・ 日本原駐屯地
 - ・ 日本原演習場14.66km²
（奈義町分：11.94km²） = 行政区の約2割



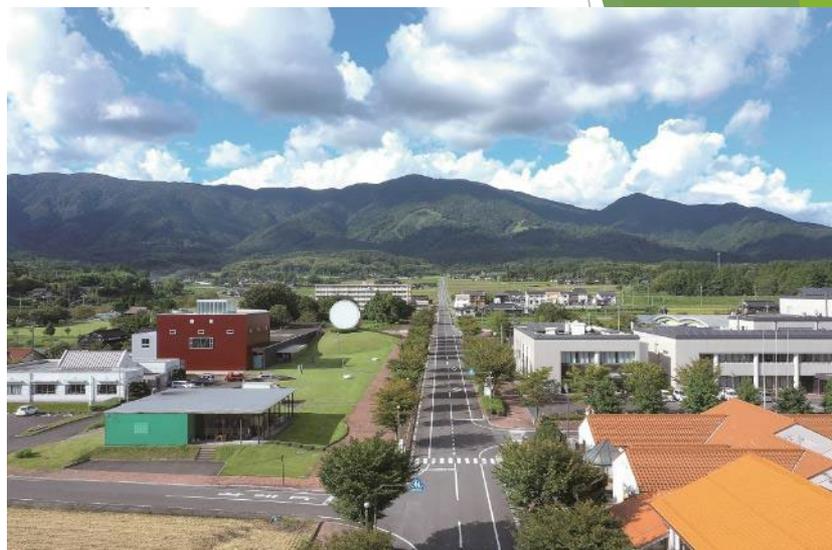
中国山地のふもと・・・空が広い開けた地形



自然 + アート = 奈義町



江戸時代から継承される
県無形民俗文化財【横仙歌舞伎】



中国山地の秀峰【国定公園那岐山】



樹齢900年を超える
国の天然記念物【大銀杏】



磯崎新氏プロデュース
【奈義町現代美術館】



奈義町ならではの旬の食材が味わえる
【那岐山麓山の駅】

奈義町の最大の課題は「人口減少」です。

課題 : 人口減少・少子高齢化



対策 : 定住促進のための

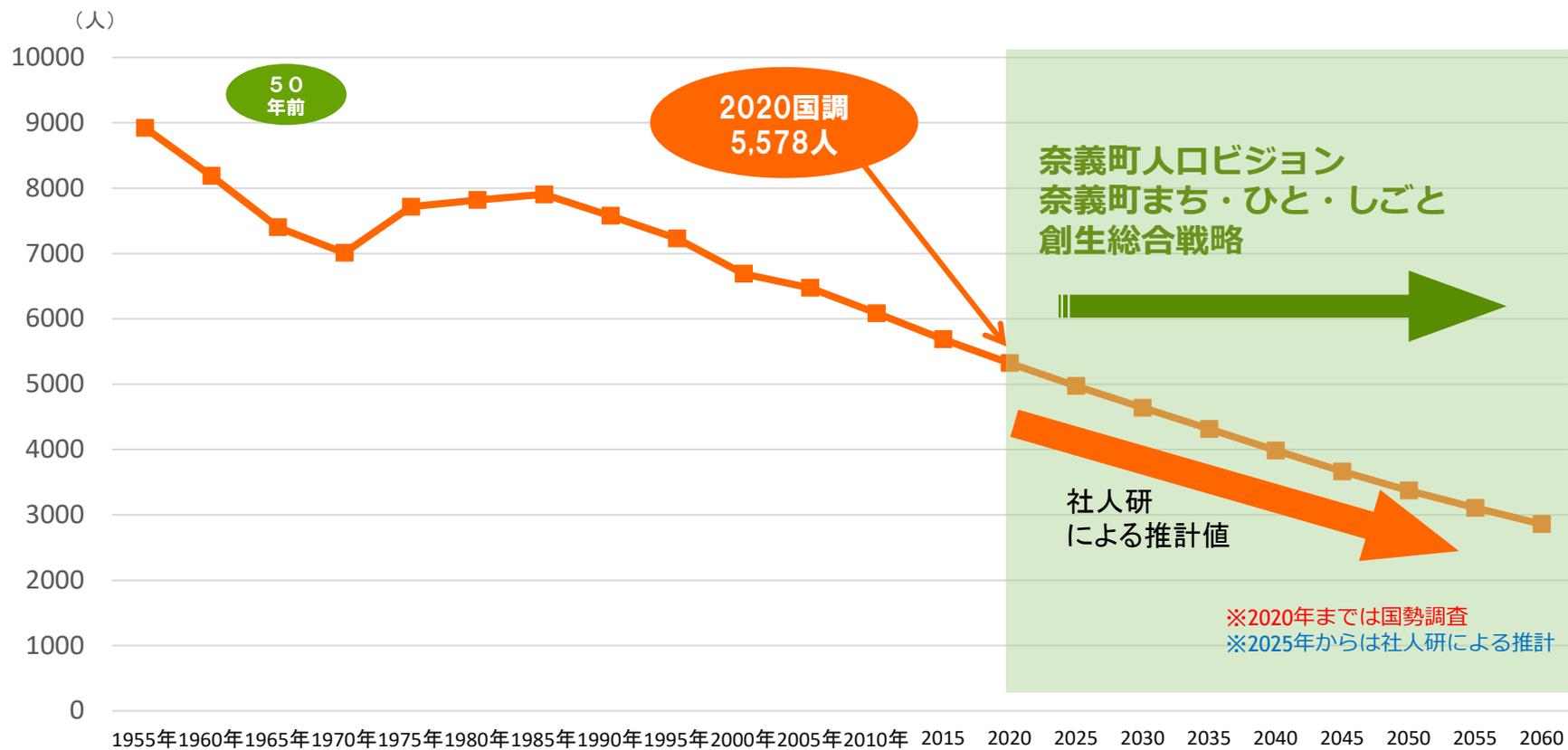
- ・住宅施策（住む環境）
- ・就労の場の確保施策（働く環境）
- ・子育て支援施策（産み育てる環境）



目標 : 今後も現在の人口を維持する

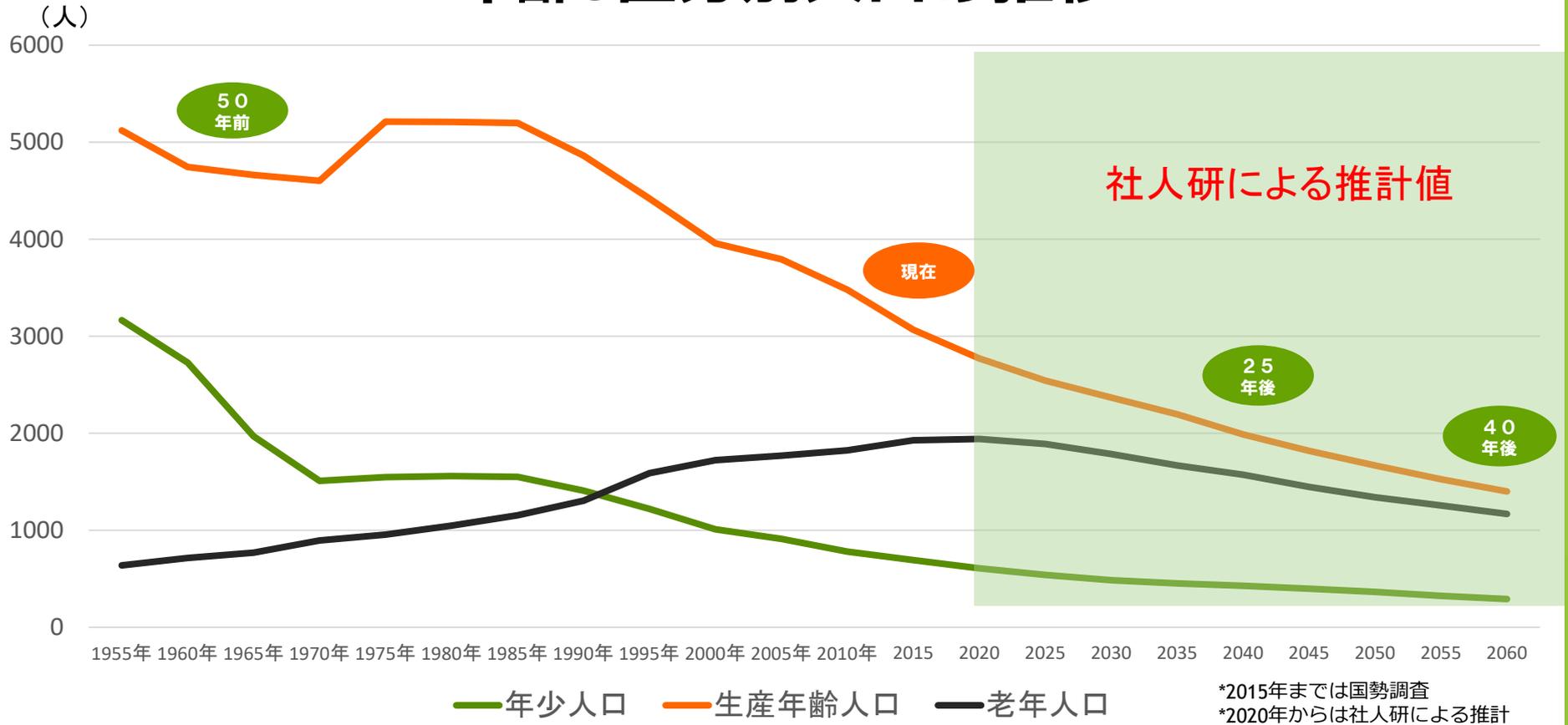
S.30年	8,925人
	(合併当初)
H.元年	7,879人
R.4.10	5,747人 (△27%)

人口の推移



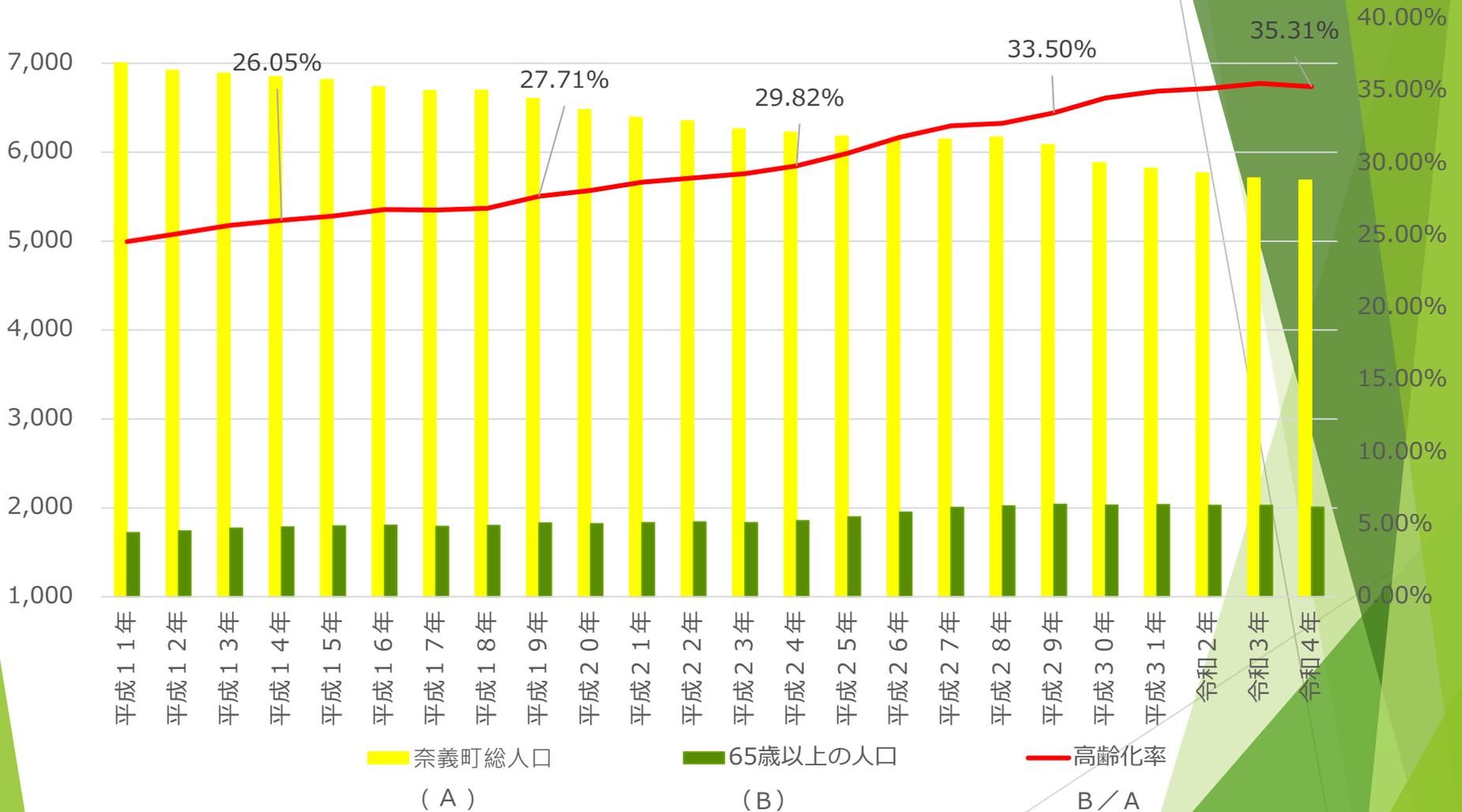
	1955年	1960年	1965年	1970年	1975年	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
総人口(人)	8,925	8,188	7,401	7,010	7,716	7,818	7,905	7,577	7,230	6,690	6,475	6,085	5,906	5,578 5,482	5,096	4,735	4,391	4,039	3,688	3,367	3,079	2,809

年齢3区分別人口の推移

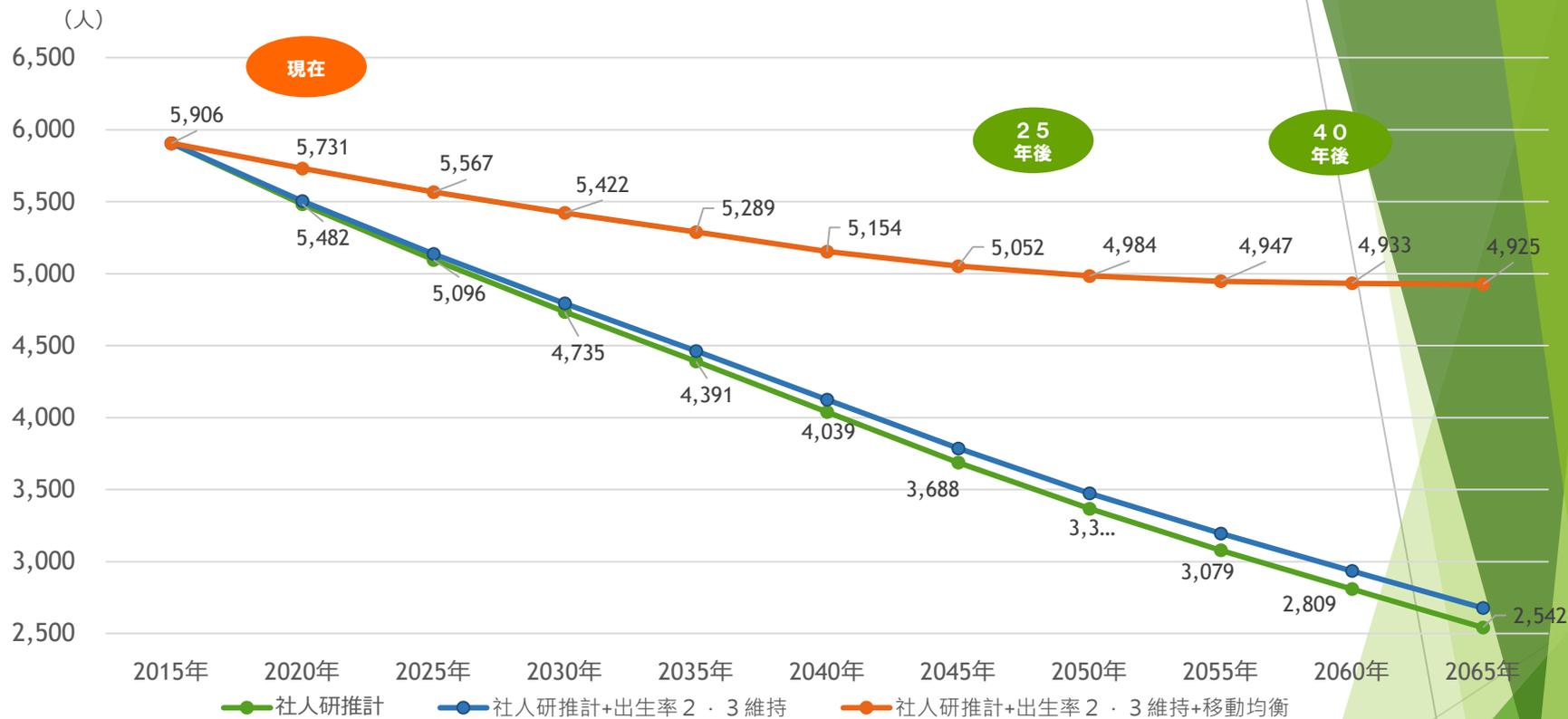


	1955年	1960年	1965年	1970年	1975年	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
年少人口	3,165	2,729	1,970	1,511	1,549	1,560	1,550	1,408	1,220	1,010	912	781	737	687	645	580	521	475	426	378	333	297
生産年齢人口	5,123	4,745	4,663	4,603	5,212	5,211	5,200	4,863	4,420	3,958	3,794	3,480	3,203	2,806	2,512	2,319	2,161	1,943	1,753	1,588	1,445	1,289
老年人口	637	714	768	896	955	1,047	1,155	1,306	1,590	1,722	1,769	1,824	1,957	1,989	1,939	1,837	1,710	1,621	1,510	1,402	1,302	1,223

総人口と高齢化率の推移



総人口の推計（シミュレーション分析）



	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	2065年
社人研推計	5,906	5,482	5,096	4,735	4,391	4,039	3,688	3,367	3,079	2,809	2,542
社人研推計 + 出生率2.3維持	5,906	5,504	5,137	4,793	4,463	4,125	3,786	3,474	3,196	2,935	2,678
社人研推計 + 出生率2.3維持 + 移動均衡	5,906	5,731	5,567	5,422	5,289	5,154	5,052	4,984	4,947	4,933	4,925

高い合計特殊出生率

若者定住施策

就労対策

独自の子育て支援策

を積極的に進めてきた結果・・・

○平成26年の合計特殊出生率は、「**2.81**」

○令和元年の合計特殊出生率は、「**2.95**」を記録



まちへの想い

～私たちが、未来に残せるもの～

私たちが暮らしている今の奈義町の姿は、これまで先人など沢山の人が町の明るい将来を思い、力を合わせて脈々と築いてきたものです。

これから10年後の未来を少しでも想像してみてください。

皆さんの家族、住んでいる地域、奈義町はどのようになっていて、どんな暮らしをしているのでしょうか。

今、奈義町の抱える最大の課題は、“人口減少”です。

人口減少は、町の基礎を揺るがす深刻な課題です。

この大きな課題を克服し、未来へ奈義町をつなげるため、チャレンジしなければなりません。

若者が定住し、子どもが生まれ、高齢者がいつまでも元気に活躍するまち

そして

若者が思いっきり挑戦し、それを応援できるまち

魅力あふれる子育て、教育のできるまち

年をとっても、病気になっても安心して暮らせるまち

人が人を呼ぶ憧れのまち

私たちは、そのような明るい未来のあるまちを次世代に引き継がなければなりません。

美しい環境を守り、優しさと思いやりで、将来にわたり誰もが暮らし易いまちを次世代に引き継ぐ。

そのためには、町民皆さんと心をつなぎ、町民参加のまちづくりが必要です。

今を生きる私たちは、未来の創造者です。

この奈義町で暮らすすべての人、そしてこれから生まれてくる子どもたちが、10年後も 20年後もその先も、幸せな笑顔で暮らしていけるように。

奈義町の明るい未来を一緒に創っていきましょう。



奈義町長 奥 正親

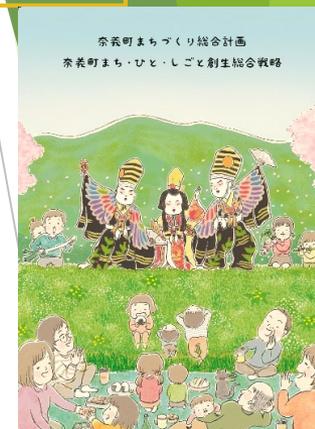
住民と真の課題を
“共有”

全ての行政施策を人口維持に向けて

魅力を未来へ紡ぎ、暮らしやすく誰もが輝けるまち
優しさと思いやりで将来にわたり永続できるまちづくり

そのため

- 子育て家庭の経済的・精神的負担軽減
- 快適な保育環境の整備や家庭内教育への支援
- 結婚や出産、子育てと働き方への支援
- 特色ある教育
- 全世代全員活躍のまち（C C R C）の推進
- 観光D M O法人による交流促進
- 働く場の確保と稼ぐ力の向上
- 安全安心なくらしの確保
- 奈義町版S D G s～未来を創る人づくり～
- 協働、地域連携によるまちづくり推進



Chapter 02

定住化に向けた住宅施策



分譲地の整備

若者の定住を促進するため、景観豊かな土地、利便性の高い土地に分譲地を整備しています。



金剛田団地



御崎野団地



つくし団地



西ノ谷団地



豊沢中央団地

分譲地の状況

分譲地の造成

令和4年7月1日現在

	西谷団地	金剛田団地	西ノ谷団地	御崎野団地	つくし団地	豊沢中央団地	合計
分譲開始	H3. 10. 11	H7. 7. 3	H9. 11. 4	H12. 3. 1	H14. 9. 2	H23. 7. 11	—
分譲完了	H3. 11	H8. 7	H31. 3	R4. 3	H26. 1	H25. 11	—
分譲区画数	5	11	9	37	16	9	87
分譲済み	5	11	9	37	16	9	87
残区画	0	0	0	0	0	0	0
分譲率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

- ・分譲地紹介報奨制度（30万円）
- ・新築住宅普及促進事業補助金
（町内新築 20万円、地元業者施工30万円、
家族加算 50万円（上限） 計100万円）

町営分譲地は
完売・・・



分譲地不足の対応策

①民間分譲宅地整備補助



A地区：2021年度_民間開発（7区画）



T地区：2021年度_民間開発（4区画）

- 1区画当たり50坪以上
- 補助対象は、造成工事費（上下水道整備費含む）
- 補助率3分の1以内
- 補助上限額 1区画当たり100万円

②新しい住まいのI/A整備に向けPPP/PFIに着手



町営賃貸住宅（若者向け賃貸住宅）の整備

ユースメゾン奈義

平成23年完成：若者住宅（集合住宅4戸）



パークサイド奈義

平成25年度完成：若者住宅（戸建5戸）



地元産材をふんだんに使用した木造2階建戸建住宅を5棟整備

若者向け賃貸住宅の建設

グリーンビレッジ奈義

平成26年度完成：若者住宅（戸建12戸）



木造2階建
戸建住宅を12棟整備

- ・延床78㎡
- ・木造2階建
- ・間取3LDK

賃貸住宅の整備

区 分	若者住宅			定住促進住宅	合 計
	ユースメゾン奈義	パークサイド奈義	グリーンビレッジ奈義	センタービレッジ奈義	
入居開始	平成23年6月	平成26年3月	平成27年3月	平成27年3月	—
戸 数	4戸	5戸	12戸	60戸	81戸
住宅形態	集合	戸建	戸建	集合	—
居室の状況	2LDK×2 3LDK×2	3LDK×4	3LDK×4	3DK	—
月額家賃	2LDK: 45,000円 3LDK: 50,000円	50,000円	50,000円	1～2階: 30,000円 3階 : 25,000円 4～5階: 22,000円	—

整備以来・・・
満室稼働・・・

整備以来・・・
満室稼働・・・

整備以来・・・
満室稼働・・・

取得以来・・・
満室稼働・・・

旧雇用促進住宅（定住促進住宅）の取得

センタービレッジ奈義

平成27年1月取得
→定住促進住宅（60戸）



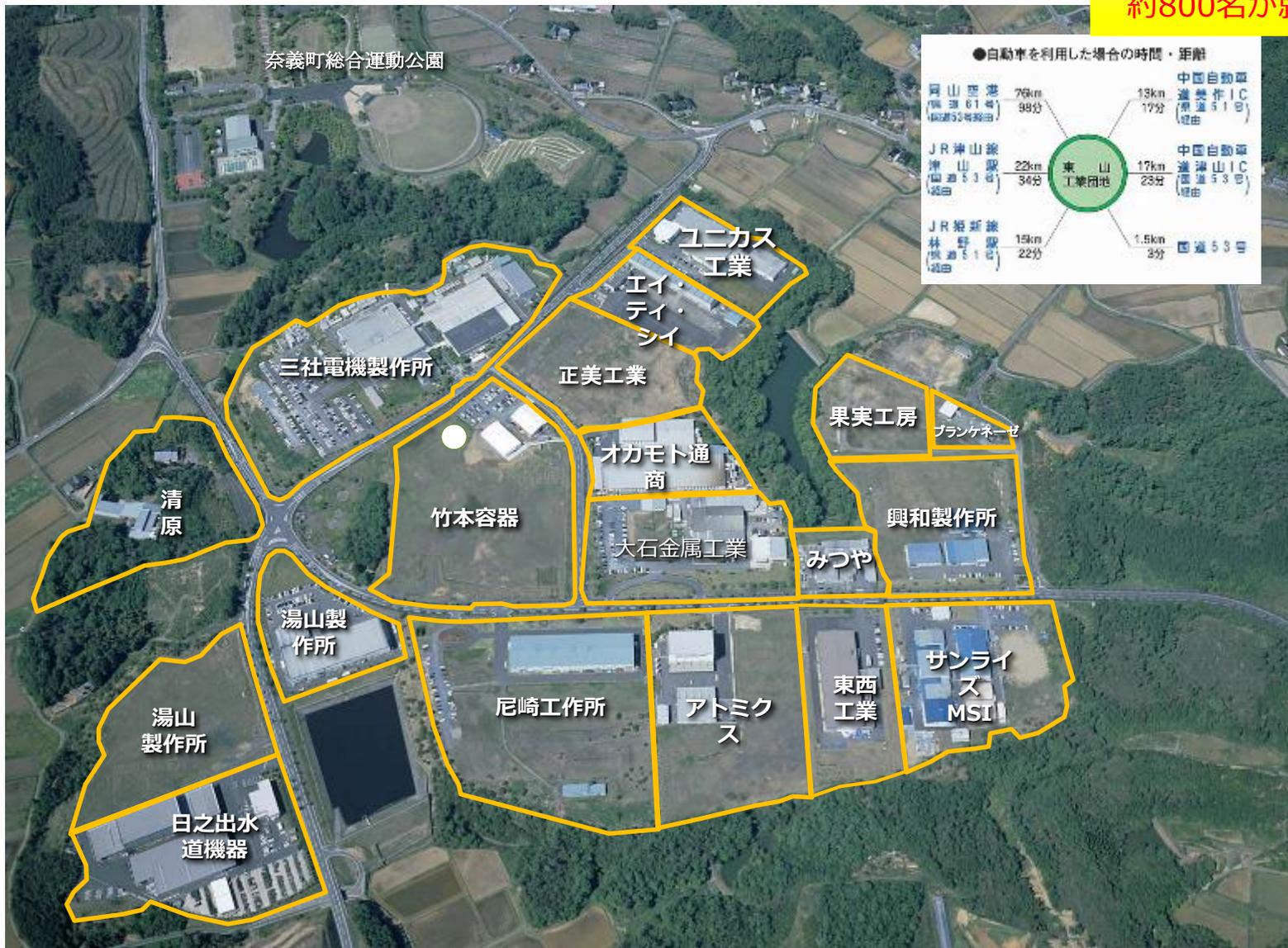
③民間賃貸住宅整備補助

賃貸住宅不足を解消するため、町で民間賃貸住宅建設助成を創設。

例) 戸建て賃貸住宅：100万円／戸を助成、 集合賃貸住宅：50万円／戸を助成
空家リノベーションによる賃貸：100万円／戸を助成 など

企業誘致 東山工業団地

平成4年完成
【全区画完売】
全16社立地
約800名が就労



“ちょっとだけ”を結ぶ、新しい“しごと”のカタチ

- 子育てしながら空いた時間に**ちょっとだけ**働きたい！ 子連れでも働きたい！
- 自分の自由な時間を使って**ちょっとだけ**、みんなと一緒に仕事をしたい！

- 常勤で雇用するほどではないけど、繁忙期に**ちょっとだけ**手伝って欲しい！
- 草刈りや片づけなど、困ったときに**ちょっとだけ**手助けして欲しい！

「しごとコンビニ」事業

目的

- ① 子育てしながらでも、就労できる仕組みや環境を整備する。
- ② シニア世代など、“時間に余裕のある人”“社会の役に立ちたいと考える人”らが、少しでも働くことができるようにする。
- ③ 一つの仕事を、みんなで“ワークシェア”することで、より多くの人々が地域や社会に関われるような、“総活躍のまち”をつくる。
- ④ 町の中に今ある仕事や、新しい仕事の“受け皿づくり”をすることで、新たな産業の創出や、働きやすい職場環境を作っていく。
- ⑤ 仕事を任せる側（事業主など）の、業務の効率化を図る。

対象

子育て中の母親、なぎチャイルドホームの利用者、保育園・幼稚園・小・中・高校生の保護者、シニア世代など

実施主体

一般社団法人しごとえん（町民主体で法人化）

事業のしくみ

町の中の色んな仕事



仕事依頼

支払

「しごとコンビニ」登録者



仕事の(例)





ご参考_奈義しごとえん (2021年〇月の業務)

企業	個人	役場
菜の花米梱包業務	草刈り・森林伐採業務	封入・ラベル貼り業務
草刈業務	空き家管理業務	消毒業務
施設管理業務	管理機がけ業務	防虫剤散布業務
清掃・トイレ清掃業務	墓地清掃業務	清掃業務
チラシデザイン業務	マムシ退治業務	郵便物の振り分け業務
チラシ挟み込み代行業務	ドローン散布業務	剪定・草刈業務
衣服の名前付け業務	供花業務	広報紙挟みこみ業務
トイレ清掃業務	農作業 (キャベツ・カブ・黒大豆 etc収穫)	スマホ教室
商品撮影・ポップ作成業務	野菜加工、お総菜製造補助	
その他、雑務多数	衣服の名前付け業務	庁舎清掃業務
受注件数 57件	受注件数 50件	受注件数 32件

“しごと”の様子



短時間の仕事で、子育て中も地域や社会と関わる

“しごと”の様子



多種多様な、しごとが地域にはある【しごとコンビニ】

“しごと”の様子



しごとを通じた多世代交流で「高齢者も元気に！」

“しごと”の様子



子連れでの仕事が難しいときは「こもりん」
(互いの子どもを見守りあう)



Chapter 03

子育て支援



奈義町子育て応援宣言

子ども達は次代を担うかけがえのない存在で、奈義町を守り支えてこられたお年寄りとともに、奈義町の大切な宝物です。

その子ども達が夢と希望を持ち健やかに育つことは、奈義町の未来であり奈義町の希望です。

子どもを産み育てやすい環境をつくり、健康で心豊かなたくましい人に育てることは、わたしたち町民みんなの大切な使命であり、この取り組みをいっそう推進し、奈義町に住めば子育てが安心、奈義町は子育てがしやすいまち、との声が全国に広まることを目指します。

そのため、行政の役割を自覚し奈義町として子育て支援にいっそう力を入れ、「子ども達の元気な声と笑顔が溢れ子育てに喜びを実感できるまち」、「家庭・地域・学校・行政みんなが手を携え地域全体で子育てを支えるまち」を目指し、ここに「奈義町子育て応援宣言」を行います。

平成24年4月1日

岡山県奈義町

- 平成24年に子育て応援宣言
- 子育て世代に広く心強さや安心感を与える効果



奈義の子育て関係施設

- 保育園 1 園・幼稚園 2 園 → 令和 6 年春_こども園開園 (予定)
- 小学校 1 校
- 中学校 1 校 → 令和 6 年春_建替え完了 (予定)
- 子育て支援施設 1 → 令和 2 年度に全面リノベーション (旧保育園)
(チャイルドホーム)

病児保育も充実！

奈義ファミリークリニック

(岡山家庭医療センター)



乳幼児健診、学校医、予防接種、
キッズ医療体験、病児保育



こども園_外観イメージ

奈義町の子育て支援施策の概要

1/5

番号	事業名	事業概要	令和 4 年度予算
1	高等学校等就学支援 金交付事業 (単町事業)	高校生の就学支援として、生徒 1 人当たり年額13万 5 千円を在学中の 3 年間支給 (制度はH19～ 現行はR2～)	17,550千円
2	不妊治療助成事業 (単町事業)	奈義町に 1 年以上住所を有した戸籍上の夫婦で、県指定の医療機関で 特定不妊治療（体外受精・顕微授精）を受けた者に助成。 県の助成を引いた額の 1 / 2 以内で年20万円を限度、通算 5 年間まで。 (制度はH18～ 現行はH26～) ※年齢制限なし	600千円
3	不育治療助成事業 (単町事業)	奈義町に 1 年以上住所を有した戸籍上の夫婦で、不育治療を受けられ た方に助成。 助成額は、1 年間の治療費等で30万円を限度。通算 5 年間まで。 (H24～)	
4	妊婦・乳幼児健診事 業	母子手帳交付時に受診券（無料券）を交付し、母や子（胎児）の健康 確保と経済的負担を軽減し、子育て支援を図る。 妊娠中の妊婦健康診査の公費負担を 1 4 回まで実施。 (制度はH19～ 現行はH21～) ※年齢制限なし	7,652千円
5	出産祝金交付事業 (単町事業)	平成 1 6 年度～ 出産祝金支給条例 奈義町に住所を有し定住している者が対象、出生児一人当たり 1 0 万 円の祝金を支給。 (制度はH16～ 現行はR2～)	5,500千円

奈義町の子育て支援施策の概要

2/5

番号	事業名	事業概要	令和4年度予算額
6	乳幼児及び児童生徒医療費給付事業 (単町事業)	高校生までの子どもの医療費のうち、保険診療に係る自己負担分を町が負担。(入院、通院の両方) (現行はH26～)	32,000千円
7	ひとり親福祉年金交付事業 (単町事業)	義務教育終了(中学3年生)までの子を養育しているひとり親に年額5万4千円を支給。第2子以降に対しては、1人増すごとに2万7千円加算。 (現行はH13～)	2,300千円
8	保育料多子軽減等事業 (単町事業)	保育料は第1子を国基準の55%に軽減。第2子半額・第3子以降無料。なお、第1子は高校生までカウント(制度はH19～ 現行はH28～)	- 千円
9	在宅育児支援金交付事業 (単町事業)	在宅で育児をする保護者に対し、該当児1人当たり月1万5千円を支給。 (満7か月～満4歳になった後の最初の3/31まで) (現行はR2～)	13,500千円
10	奨学育英金 (単町事業)	勉学意欲がありながら経済的理由により就学が困難な大学生等に対し、無利子で最大年額60万円の育英金を貸与。 卒業後に町内に居住することで、最大半額の返済免除あり。 (H27～)	3,600千円

奈義町の子育て支援施策の概要

3/5

番号	事業名	事業概要	令和4年度予算額
11	子育て家庭食育支援事業 (コロナ対策)	小中学校で提供する学校給食費の食材費購入助成。 これにより核児童生徒の学校給食費は概ね半額負担程度に軽減される。 ※物価上昇にも対応！	13,220千円
12	子育て家庭学校教育等支援事業 (コロナ対策)	小中学校の教育教材費の無償化。	7,768千円
13	軽度発達障害児相談支援事業 (単町事業)	増加傾向にある発達障害児等の支援体制として、津山みのり学園と委託契約を行い、心理士による、チャイルドホーム、保育園、幼稚園、小学校、中学校訪問を行い連携を取りながらの支援と、個別相談体制の充実を図る。 (H18～)	886千円
14	おたふくかぜ予防接種 (単町事業)	おたふくかぜは、ムンプスウイルスが原因である流行性耳下腺炎を指し、ワクチン接種は任意接種であるため接種率は約3割と低い。合併症として無菌性髄膜炎等が見られる。小児科医や町内医師も接種を強く推奨しており、ワクチンによって回避できる疾病として認識されている。 ワクチンは1歳児と幼稚園年長の2回接種を全額助成。(H25～)	2,029千円
15	インフルエンザワクチン接種 (単町事業)	高校生までのインフルエンザ感染予防を図る。 13歳未満は2回接種で1回目のみ個人負担 1,700円、13歳以上は1回接種で個人負担 1,700円 (H25～)	

奈義町の子育て支援施策の概要

4/5

番号	事業名	事業概要
16	病児・病後児保育事業	奈義ファミリークリニックで病児及び病後児の一時預かり保育を実施。 対象児童：町に住所を有する生後6か月から小学校3年まで 料 金：個人負担2千円 定 員：4人
17	なぎチャイルドホーム	つどいの広場「ちゅくしんぼ」、子育てサポート「スマイル」、自主保育「たけの子」 親子クラブ等の活動の場、乳幼児・園児・児童・高齢者の交流の場 利用料：無料 対象者：乳幼児から高齢者 令和元年度延べ利用者数：約12,000人
18	つどいの広場「ちゅくしんぼ」	子育てアドバイザーを配置し、乳幼児等をもつ子育て中の親子が集い、親子での交流や、子育てについての相談の場として利用する 月曜日～金曜日（祝日等は除く）、午前9時～午後3時 利用料：無料 対象者：0歳から就園前の乳幼児と保護者 令和元年度延べ利用者数：約7,500人
19	子育てサポート「スマイル」	保護者が行事等で家庭保育ができないとき、なぎチャイルドホーム又は子育て援助者の自宅等で一時預かりを行う（H19～） 月曜日～金曜日（祝日等は除く）、午前8時30分～午後5時 （子育て援助者の了解が得られた場合は、土・日・祝日も利用可能） 300円/人・時間 対象者：6か月から小学校3年生まで（会員登録者） 令和元年度利用者数：148人
20	自主保育「たけの子」	自然とのふれあいを大切に、保護者どうしが助け合い、保育士と協力しながら自主的に保育活動を行う。（H28～） 火曜日～金曜日 午前9時～午前12時 対象者：2歳半から就園前の幼児と保護者（H19～） 年会費：100円（保険料含む） 令和元年度延べ利用者数：約2,500人

奈義町の子育て支援施策の概要

5/5

番号	事業名	事業概要
21	奈義保育園	<p>保護者が仕事、出産、病気等の事情により、家庭保育が困難な場合に保育を行う 月曜日～土曜日（祝日等は除く）午前7時30分～午後6時30分 保育料は国基準の55%、高校生を含めた多子軽減を実施（H19～） （第2子・半額、第3子から無料） 対象者：0歳児～3歳児</p>
22	一時保育	<p>保護者の就労形態、疾病等による緊急時に一時保育を行う 就労形態等による場合は週3日以内、入院・疾病等による緊急時は月12日以内 1,800円/人・日 対象者：1歳以上4歳未満（H20～）</p>
23	幼稚園 育児支援	<p>幼稚園終了の午後、家庭保育が困難な園児を預かり、遊びを通じて自主性、創造性を養う 月曜日～金曜日（祝日等は除く）、午後1時30分～午後6時 （夏休み等は、午前8時30分～午後6時） 無料 土曜日は午前7時30分～午後6時まで 対象者：在園児（制度H9～ 現行R1～）</p>
24	小学校 なぎ放課後児童クラブ	<p>放課後等、家庭保育が困難な児童に生活指導等を行う 月曜日～土曜日（祝日等は除く）、午後1時30分～午後6時 （夏休み等は、午前8時30分～午後6時） 第1子：6,000円/人・月（10日未満は300円/人・日） ※第2子は第1子の半額、第3子以降は無料 対象者：在学児童（制度H9～ H20～）</p>

多世代共生型ナギフトカード

全町民が所持するICチップ入りの
“電子カード”
子育て支援メニューも充実

【名称】 ナギフトカード

【機能】

①ナギフトポイント

⇒行政ポイント全56メニュー+買い物ポイント
・・・貯まったポイントは1ポイント1円で利用できる！

②ナギフト支援券

⇒地域プレミアム商品券の電子版（地域活性化支援券）
※令和4年度は、1万円で1.3万円が利用できる！

③ナギフトマネー

⇒自分のお金を加盟店でチャージして使える電子マネー

④給付金

⇒長引くコロナ禍の家計への経済支援と、地域経済の活性化を図るため、ナギフトカードを通じて給付金を交付。

※全国的にも先進的な取り組み。

【スマホ連携】

★スマホ等で利用できる奈義町公式アプリの機能により、ナギフトカードと連携

⇒ポイントや電子マネーの残額・利用や付与歴が確認できる他、スマホでQRコードを表示することに、スマホ決済も可能！



町民カード



町外者カード



高い合計特殊出生率の鍵は「安心感」

- 住むところがあって安心
(若者住宅、定住促進住宅、安価な分譲地など)
- 子育ての負担が軽くなって安心
(出生から大学卒業まで切れ目のない経済的支援)
- 働くことができて安心
(工業団地や起業支援、しごとコンビニ、シェアオフィスなど)
- 子育ての悩みや喜びが共有できて安心
(チャイルドホームが核となり多様な地域の人に関わる仕組み)
- 町のみんなが子育てを応援してくれて安心
(一時預り、自主保育、登下校の見守り、学校支援ボランティアなど)



地域ぐるみで子育て

地域みんなで
子育て支援

地区

町内
医療機関

愛育
委員

子育て
ボランティア

子育て
グループ

老人
クラブ

保育園
幼少中
PTA

チャイルド
ホーム

教育
委員会

行政
町・保健所

栄養
委員

民生委員
児童委員

国や地域が生き残るためには、人口維持、そして出生数(出生率)の維持は必要です。

奈義町はそのロールモデルとして、引き続き“子育て”に注力していきます。

ご清聴ありがとうございました